



七尾中学校 学校だより

# 七尾の丘

校訓 「感 考 行」



マスコット“七王” (ななおう)

第5号

令和7年7月17日

廿日市平良二丁目2-34

TEL:0829-32-8200

## 自分たちの学校だから！

6月16日(月)と19日(木)に令和7年度生徒総会が実施されました。本校の生徒総会は、生徒朝会で生徒会スローガンを提案したり、生徒会の活動についての柱(※下記提案)を各学級で協議したものを代表者会で全体協議したり、部長会で生徒会予算案について、生徒会専門員会で年間活動計画について決議したり、放送や動画を使って全校生徒で決定事項を共有したりするなど、本当に手間をかけて丁寧に実施しています。これだけのことをやっていくために、陰で生徒会執行部の皆さんがどれだけ苦勞してきたことか…。本当に、よく頑張りました。

七尾中の生徒総会には大きく2つの「ねらい」が掲げられていました。

1つ目は、「よりよい学校を創(つく)っていかこうとする意欲・態度を高め、生徒会活動の活性化と自治の力を身につける」こと、2つ目は、「話し合いによる公平な決議の方法を体験し、自他の権利を重んじる態度を養い、集団生活の秩序と規律を高める」ということでした。

生徒会長の3年松島咲来さんは、生徒総会に関わるいろんな面で「生徒が主役の七尾中」ということを、強調していました。自分たちの学校のことは、自分たちで決めてやっていくという強い気持ちの表れなのだろうと、頼もしく思いながら聞いていました。



さあ、令和7年度の生徒会活動の方針が決定しました。

これからは、この学校の主役である生徒の皆さん一人一人が、この七尾中をどのように彩っていくかです。そして、みんなが誇れる七尾中プライドを創っていきましょう！

この1年間の皆さんの活躍を期待して、楽しみに見守っていきます。

### 【提案1】生徒がつくる七尾チャレンジ

昨年度から行われている七尾チャレンジにより、より過ごしやすい学校へと進化しました。今年度も取り組みを継続していきたい。

手法としては、Google フォームにより1か月に1度、全校生徒よりチャレンジする課題について意見を募集。生徒会執行部が集まった意見の中から、学校の実態に合わせて課題を設定して、七尾チャレンジとして全校で取り組む。

実施できなかったチャレンジについても、生徒会通信などで、全校生徒へ周知していく。

### 【提案2】七尾ボランティア

私たちは、日頃から地域の方々に支えていただいで安全・安心な生活を送ることができている。

しかし、昨年度、学校運営協議会に参加させていただいた中で、地域では人手不足が恒常化しており、ボランティアに人が集まらないということも多いという課題を見つけた。

そこで、日頃の感謝の気持ちを表現することと、地域貢献を果たすために、校外に出てボランティアをしてみてもどうか。

これら2つの提案に対して、各クラスからは一部修正案なども意見としてだされていましたが、承認を得ています。これらの提案を実現するために、生徒会執行部ではさらに協議・調整を進めていきます。



↑ 代表者会で意見を述べるクラス代表



↑ 代表者会での議決の様子



↑ 全校放送で議決事項を周知する生徒会役員



↑ 動画による情報共有をしている学級の様子

### 【生徒会長 松島咲来さんのコメント】

生徒総会は、これからの七尾中学校の取り組みを決めていく大切な場であり、執行部の方針を決める一つの節目でもあったので、無事終わることができてよかったです。今回の生徒総会で印象に残っていることは、代表者会での学級委員さんの姿です。全ての学年、全てのクラスの学級委員さんが手を上げ意欲的に発表をして、とても活発な会を行うことができました。今回決まった活動は、生徒自らが話し合って決めた活動であることはもちろん、生徒が主役となって行っていくような内容が多く含まれています。

これらの活動が、今年度の生徒会目標「ACTION」や、「生徒が主役の学校」への一歩になることを願っています。

## 成長期の栄養は大切だ！

6月16日(月)に廿日市市立小学校の栄養教諭による、1学年対象の食に関する指導の授業がありました。平良小学校の竹本栄養教諭と宮内小学校の岡栄養教諭のお二人に来ていただき、各学級で1時間の授業を行っていただきました。

中学生は小児から成人への移行期であり、心身ともに発育が盛んな時期です。この時期は、身長・体重など目に見える成長もさることながら特に骨の成長が著しく、骨粗しょう症などの予防も含めてこの時期の食生活が将来の健康に及ぼす影響は大きいと



いわれています。

また、年々増加している生活習慣病を予防するためには、望ましい食習慣を身につけ、将来にわたって食生活の自己管理ができる能力を育てることも大切なことです。

そこで、食に関する指導の授業では、自分の食事のとり方を振り返り、身体をよりよく成長させるために食べる量や栄養バランスが大切であることに気づき、自分の健康を考えて望ましい食習慣身に付けていくことをねらいとされました。

授業の最後には、これからどのように食事（給食・家庭での食事）をしていくかを各自で考えましたので、ぜひ、ご家庭でも話題にいただければと思います。



## 部活動地域展開についても考えています

令和5年度に、学校部活動の地域クラブ活動への移行等を進める「改革推進期間」がスタートしてから、2年が経過しました。こうした中、中学生世代の人口は更に減少し、学校部活動を巡る状況は、ますます厳しいものとなってきました。今後も、中長期的にそうした傾向が続いていくことが見込まれるところ、国はこのタイミングで更に改革に向けての取組を加速させなければ、子どもたちに豊かなスポーツ・文化芸術活動の機会を保障できなくなることを強く懸念しています。

そのような中、5月16日、スポーツ庁と文化庁の有識者会議である地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議において、令和13年度までに、休日における原則休日の部活動の地域展開実現を目指す等とする部活動改革に向けた最終取りまとめが国へ提出されました。

廿日市市では、地域の実情に応じた部活動地域展開を実現するために、検討委員会やモデル事業などが実施されてきましたが、この度、現場の生徒や先生の生の声を聞くために、廿日市市教育委員会が修道大学の「地域つながるプロジェクト」を活用して、大学生によるヒアリング調査を実施されました。

七尾中学校では、6月28日（土）の午前中に活動していた部活動から、生徒や顧問の先生の生の声を届けています。

今後、廿日市市でよりよい部活動地域展開が実現されるよう、みなさんで一緒に考えていきましょう。



## 校外学習実施～3年生大学訪問～

7月9日（水）、3年生は「進路探究」の一環として、大学訪問を行いました。訪問先は日赤看護大学、広島工業大学、広島修道大学、広島市立大学の4校です。この活動を通じて、生徒たちは将来の進路について考える貴重な機会を得ました。

現在、多くの生徒が高校に進学する中で、進路選択の幅は非常に広いです。大学訪問は、さまざまな進路を考える上で大きなヒントを与えてくれる学びの場となりました。参加した生徒たちは、刺激に満ちた1日を過ごしたようです。生徒の感想の一部をご紹介します。

○ 大学生になると、自分の学びたいことを主体的に選ぶことが求められます。大学での学びを充実させるためには、課題に真剣に取り組む姿勢が大切だと感じました。また、大学では自分で時間割を決めるため、自己管理や情報収集の能力が必要だと思いました。

○ 日赤看護大学では、赤ちゃんの心臓の音を聞いたり、抱っこしたりする体験をしました。また、赤ちゃんがどのように生まれるのかについての講義も受けました。修道大学では、美味しい昼食をいただき、学生の方に校内を案内してもらい、たくさんのことを学びました。これからの進路選択に活かしていきたいです。

日赤看護大学



広島市立大学



広島工業大学



修道大学



## お知らせ

- これから、長い夏休みに入ります。それぞれの家庭において、元気で充実した夏休みが過ごせるように願っています。夏休み期間中は、平日の8:10～16:45の間は電話対応ができますが、時間外や休日、夏季一斉閉庁日（8/12～14）に緊急の連絡が必要な場合は、廿日市市役所（代表）0829-20-0001に電話をして、七尾中学校からの折り返し電話を依頼してください。
- 夏休みの部活動は、熱中症に注意しながら実施していきます。その一環として、外で活動する運動部については、7:30から練習開始を可能とし、WBGTが31℃を超えるまでに活動を終えるように計画しています。詳しくは、各部活動から指示がありますので、よくご確認ください。なお、部活動の欠席連絡はtetoruを利用するなど、確実にお願いします。
- 今年は、被爆80年の節目の年です。8月6日の平和記念式典には、廿日市市の小中学生を代表して、本校からも5名の生徒が参列します。当日は、式典のテレビ中継や平和に関する特別番組も放映されるようです。この機会に、ご家庭でも平和について話題にしてみてください。